成人映画

200yen

昭和44年12月18日　第３種郵便物認可　昭和48年６月１日発行通巻89号　毎月１回１日発行

★真湖道代らが、純生ヌードを一般に解放★

★友川ゆかりの過去あるセックス★

NO. 89

1973

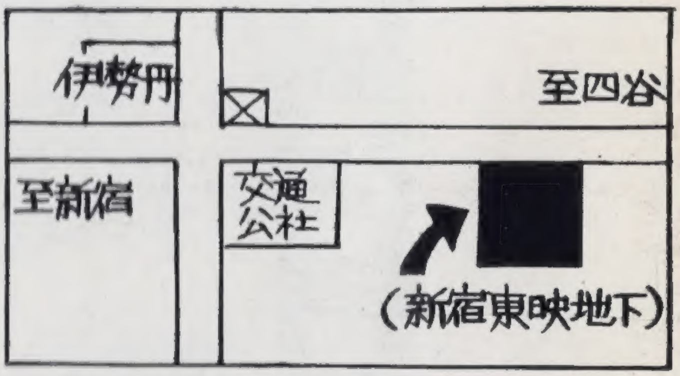
貴方もポルノ映画の監督になってみませんか！

5月1日《スタジオ・スナック A & A》オープン!!

私たちポルノ女優が　スタジオ・スナックを開きました
スナップ撮影・8ミリ撮影　その他エロエロ注文OKヨ
ぜひいらして下さい

真湖道代とそのグループ

新人女優多数交代で出演



●撮影時間
PM 2 時から PM 7 時まで
（スナックは朝3時まで営業）

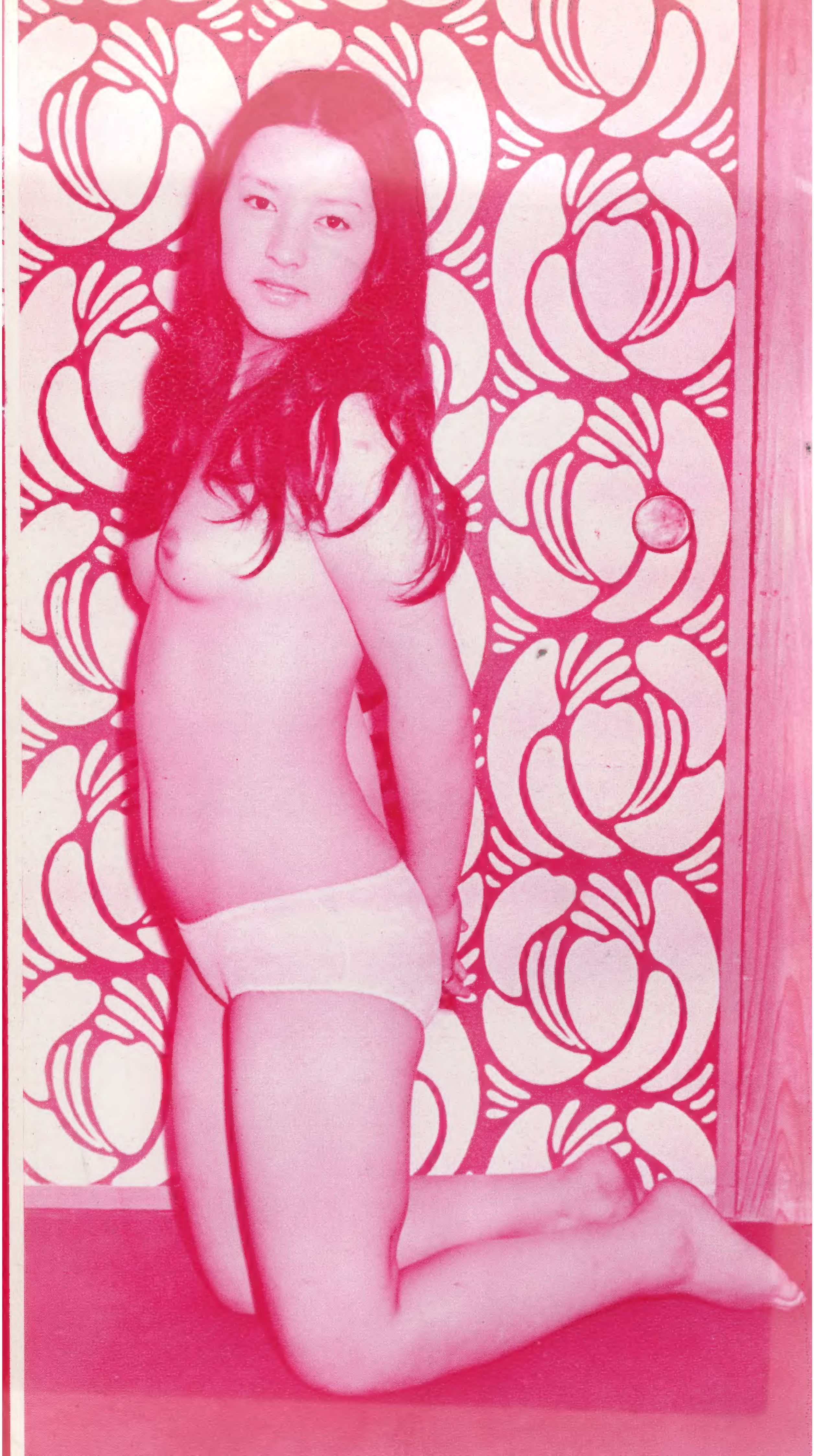
●撮影料金
1時間　4,000円

●貸カメラもあります

スタジオ・スナック
A & A

東京都新宿区新宿3丁目50番地
TEL(356)4720
事務所(463)8006

新・魅力探検
山谷ますみ



新・魅力探検

新緑のかおりの魅力●山谷ますみ

「三人娘の男狩り」(監督沢賢介)で新鮮なところをみせた新人。低音でハキハキと物をいい、行動もテキパキしていて現代っ子らしく気持がいい。きょ年の3月末、歌手になるつもりで北海道の旭川に近い滝川市から家出同様で上京、喫茶店で働いているところをスカウトされ、目下は谷ナオミのもとに住み込んで女優修業。ことしの3月「性神日本列島」(大蔵映画小川卓寛監督)でデビュー、7本に出演した。

北海育ちだけあって、肌が白く、澄んだ瞳がいい。きょ年の4月処女喪失したばかり。7月から男関係を絶っている。自分を大切にしていい女優になりたいのが念願。30年3月26日生まれの18才。身長160、B84、W60、B89。

成人映画89号　目次

スクリーン・エロチシズム……12

性の完全犯罪　同棲三角関係
性感追求　愛の桜貝
性神日本列島　甘いしずく
人妻悶絶　熟れた悶え
男妾になるテクニック　トルコ㈱SEX

魅力探検＊新緑のかおりの魅力・山谷ますみ……3

■ポルノ対話〈性の全告白〉
友川ゆかりの過去ある性……22
■山本晋也論・暖かいまなざしの人間性喜劇－渡辺護……26
■ピンク映画みたまま・読者の映画評……28
■シネキチ街……30
■日活ポルノ情報……32
■ポルノ映画時評－村井実……34
■キャリアでみせる珠瑠美の濡れ場「すきすき物語」ロケより……35
■真湖道代らが生のヌードを一般に解放……39
■洋画ポルノ情報……43
■編集後記……46

●スクリーン・エロチシズム●今月の新作紹介

「性の完全犯罪」てリンチされる谷ナオミと青山美沙

性の完全犯罪

六邦映画配給

綾子（谷ナオミ）は娘の澄子（谷ナオミ二役）を連れ源造（山本昌平）の嫁になった。源蔵は毎夜、綾子を責め折檻する変質者だったが、ある夏に海で死ぬ。そんなある日、高校生の澄子を源蔵は犯してしまう。青山リマ、青山美沙、島江梨子、山谷ますみが出演。監督　久我剛

性感追求

国映配給

新婚の四郎（武藤周作）と洋子（城新子）は毎日がバラ色だ。だが同僚の節子（可愛寿美子）は怒りと嫉妬で四郎を責める。四郎は節子とは遊びのつもりだったが彼女の体も忘れられないのだ。洋子と節子に責められる彼はクタクタだが、出張と称しては下町のアパートへゆくが…。監督＝渡辺護

写真①②③は「性感追求」の可愛寿美子と城新子　④⑤は「性神日本列島」の山谷ますみと林美樹　⑥「人妻悶絶」の島江梨子

④

性神日本列島

ＯＰ映配提供(天蔵映画作品)

カメラマンの洋一（住田元）は性神をテーマに馴染みの朱実（林美樹）をモデルに撮っていたが、彼の写真は売れない。そこで行詰りを打開するため二人で旅に出る。旅先で知り合った小百合（山谷ますみ）をモデルにした洋一は快心の作品を撮りやがて小百合を愛してしまう。監督　小川卓寛

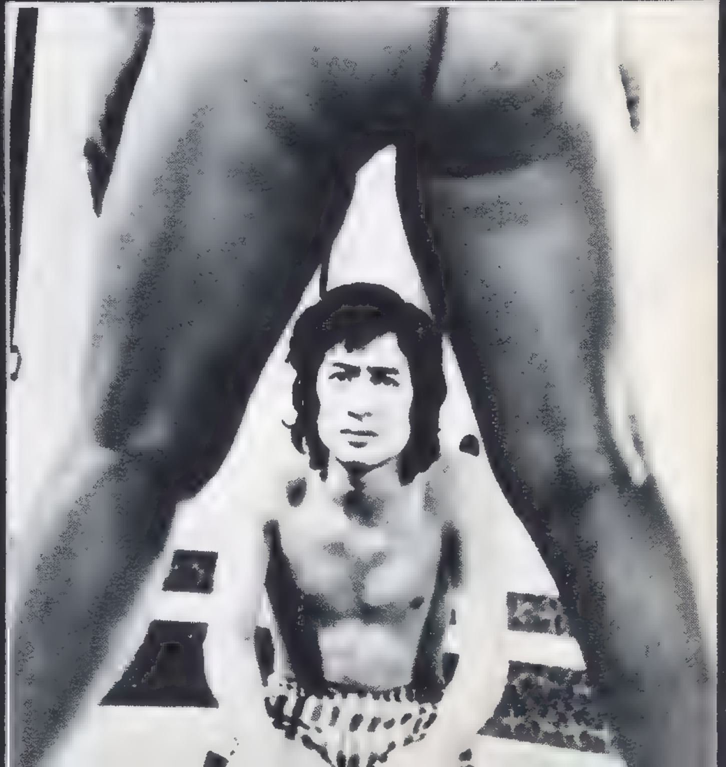
人妻悶絶

ミリオンフィルム配給

節子(島江梨子)は夫の正彦（市村譲二）と平凡な生活をしてたが、夫との味気ないセックスだけは不満だ。夫の出張の日、節子は芳子（竜リエ）と珠江（速見かおり）に誘われナイトクラブにゆく。そこで待田（野上正義）を紹介され愛し合うが、彼は節子を喰いものにしてゆく。監督　岸本恵一

男妾になるテクニック

[illegible]



写真＝市村譲二に責めたてられる東裕里子
と桃モニカのジャンボオッパイをもむ
湯沢秋弘＝志見マヤのエクスタシー

同棲三角関係

（OP映配提携・大蔵映画作品）

新婚のみどり（可愛寿美子）は夫の真吾（椙山拳一郎）とのセックスに燃えていた。それを隣りの学生英夫（久保新二）はカベ越しに聞き、テープに録って楽しんでいた。毎夜、聞かされる若妻の声と英夫はいつしかみどりを奪いたい欲望にかられる。ある日、友達の聖子（坂新子）との濡れ場をテープにとりその声をみどりに聞かせるのだが、とり乱した彼女は……。監督　[illegible]

愛の桜貝

（日映配給）

百田（市村譲二）は愛人の桃代（空井みつ子）と一緒になりたいため妻の鈴子（千観かおる）がなんとか死んでくれないかとひそかに思っていた。結婚記念日に鈴子と旅行するつもりだったが、[illegible]を共にやり、[illegible]桃代と情事にふけっていた。が、鈴子が乗った列車が事故で全員死亡したと聞く。保険金が入り桃代と一緒になれると喜んだのもつかの間、ヒョッコリ鈴子が……。監督　[illegible]

写真1 2「同棲三角関係」の可愛寿美子と城新子　3 4 5は「愛の桜貝」の千秋かおると空井みつほ

▼「甘いしずく」の青山リマ▲「熟れた悶え」の瀬良美似

甘いしずく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

熟れた悶え

[illegible]

[illegible]

トルコ㊙SEX

[illegible]

[illegible]

▲「熟れた悶え」の瀬良美似と野上正義▼「トルコ風SEX」の北見マヤと桜マミ

《ポルノ対話》性の全告白

友川ゆかりの過去ある性 一度知ったセックスの味

中絶して覚えたオナニー、でもいまは男との性に燃えているの……

友川ゆかりの略歴

■29年4月14日栃木県生まれ。47年9月「性遊記」(六邦映画)でデビュー。小柄で全体にポチャ、ポチャとして肉感的。ガラガラ声で栃木弁がぬけなくセリフがヘタだが、エクスタシーの表情はうまい。スケバン、娼婦、ホステスと悪女タイプの女優として貴重だ。気さくで明るい現代っ子だが、約束を平気で破ることはこれからの彼女にはマイナス。最近作「色情卍巴」(OP映配)。S156、B86、W62、H90。太陽所属。

恥毛も剃って協力

★キミが女優になったキッカケは?

ゆかり 子供の頃から女優にあこがれてたから、友達から女優の仕事があるって聞いて飛びついたの。

★ピンク映画についての知識はあった?

ゆかり 全然なかったわ。撮影に行ったら、全裸になれっていわれて、ビックリしたわ。

★それじゃ、最初は抵抗した。

ゆかり 引きうけたからには、みんなに迷惑をかけちゃいけないので、脱いじゃったわ。その時は夢中だったけど、撮影が終って一人になったら、悲しくなっちったわ。

★今はもう平気になった?

ゆかり でも、やっぱり恥ずかしいけど仕事って割り切ると平気ね。

★キミのことカメラマンは協力的でやりやすいっていうね。

ゆかり 当然のことをやってるだけよ。大担なポーズも平気っていっても写真が必要だから要求されるんだから、プロである以上やるのが当然でしょう。

★体毛も剃ってるって本当?

ゆかり 毛深くはないけど、撮影の時手で隠れないのよ。だから、仕事に面倒のないように剃ってるの。

★ベッド・シーンの時感じることなんてあるかい。

ゆかり 仕事と割り切ってても、私っておかしいのかしら、脇腹や乳房なんかに触わられると、濡れてくるのが自分でもわかるの。

★ということは、私生活でも充分女のヨロコビを知ってるね。初体験から順番に聞くよ。

ゆかり 15才中学三年の時、田舎のスナックのマスターと。車でドライブに誘われて車の中で。最初抵抗したけど嫌いじゃなかったし、好奇心もあったから許したわ。終って別に感激はなかったわ。痛いと思っただけね。

★その人とは、それ以後つきあったの。

ゆかり 何度も誘われたけど、自分の女に命令するような態度が嫌になってつきあわなかったわ。

6人目で知ったよろこび

★それじゃ、女のヨロコビを教えてくれたのは別の人なんだね。

ゆかり 17オの時、新宿で遊んでる頃知りあった大学生にだわ。確か6人目の男性だったけど、いろんなことを知らされたわね。

★いろんなことって？

ゆかり あんまり話したくないけど、私その人の子供を堕ろしたことがあるの。

★別に結婚を考えた相手じゃないんだろう。避妊はやってなかったのかい。

ゆかり セックスに無知だったから避妊はしてなかったの。でも、一度も妊娠しなかったから安心してたのね。相手とは同棲してて、将来は結婚しようって話してたの。だから産もうかと考えたけど、彼に生活のことを考えろっていわれて板ばさみだったわ。彼の収入と私のバー勤めで生活費は充分だったけど、私が働けないと困っちゃうもの。

だまされて妊娠6ヵ月

★それで泣く泣く彼に連れられ病院へ行ったのかい。

ゆかり 違うのよ。彼ったら、子供を堕ろす費用を両親から貰ってくるって家を出たまま戻ってこなかったの。私ってバカだから6ヵ月でオナカが目立ちはじめるまで彼のこと待っていたわ。

★6ヵ月じゃ、堕ろすのは、もう無理じゃないのかい。

ゆかり お医者さんも、母体の安全は責任持てないっていったわ。でも、テテ無し児を育てる自信がなかったから、無理に堕ろしてもらったの。

★でも、ひどい男だね。会ったら殴りつけたいだろう。

ゆかり　最初はそう思ったけど、そんな男に抱かれた自分がバカだとあきらめたわ。ただそのあと男性不信になるわね。男性が恐ろしくてセックスできなかったんだもの。

当分仕事に専念よ

★でも、欲求だけはあるよね。

ゆかり　恥ずかしい話だけど、妊娠中絶をして初めてオナニーを覚えたの。

★よっぽどショックが大きかったんだなあ。今でもオナニー派？

ゆかり　フフッ、私もだめね。一度覚えたセックスって、オナニーだけじゃ満足できないものね。

★それじゃ、前みたいにバリバリセックスにはげんでるのかい。

ゆかり　嫌だあ、そんな色気狂いじゃないわよ。それ以後は真剣ね。遊びでセックスできないの。この人となら結婚してもいいって相手だけね。今度、妊娠したら絶対産むつもりよ。

★今つきあってる人は結婚を前提にした人かい。

ゆかり　そのつもりだけど、今はお仕事が楽しいから、当分結婚は考えないでやっていくつもりよ。

〈山本晋也論〉後編
暖かいまなざしの人間性喜劇

渡辺護 ―映画監督

「ボインと痴漢」

山本晋也には、痴漢、女湯、という二つのシリーズものがあって、彼の個性が実にハツラツと生かされているが、もうひとつ見落すことができないものに、野上正義と真湖道代の二人が演ずる、サラリーマンの日常的な夫婦生活を描いたコメディがある。

これは彼の無邪気な精神である。登場するのは、強い妻と弱い夫であるが、彼は、そこに父性の崩壊を見ているのでもなければ、母性への思慕を託しているのでもない。彼は、ただ無邪気な眼で、サラリーマンの日常生活のディティルを眺めているのだ。彼の映画から、どんな思想を抽象化しようと試みてもムダである。それほど彼の眼は地についているといってもいい。日常生活にまとわりつく、どんな観念をも断固として拒絶し、彼は自

「女湯・女湯・女湯」

「女体列島改造」の真湖道代と野上正義

分の眼が見たものだけを、しつように描く。そこに山本晋也ならではの笑いが生まれるのであって、観念的な操作によって、でっちあげられる種類の喜劇とはわけが違う。

ピンク映画のイメージは、従来、圧倒的に暗く、じめじめしたところがあった。全部が全部とまではいわないが、哀しい女の流転を描いた作品がピンク映画の初期以来、主流を占めてきた。ここ二、三年の間に、ピンク映画の世界にも、たくさんの喜劇ものが作られてきたが、ピンク映画界に喜劇ブームをまきおこしたのも、山本晋也にほかならなかった。

ピンク映画というワクをはずしても彼の作品は通用する。それは彼の生み出す喜劇が彼の個性と分ちがたく結びついていることに由来する。これは、まぎれもなく、山本晋也の喜劇だという意味で、喜劇映画を撮れる監督は、ピンク映画の世界には残念ながら一人もいないであろう。

山本晋也はこの十年近くの間に百本近くのピンクコメディを作って来た。彼の喜劇作品を見てバカバカしいと笑うことと、バカバカしい喜劇映画を創造することとは明らかに別のことである。

山本晋也の喜劇映画は、彼のとほうもないナンセンス精神の表現であるが、その底にはどうすることもできない物哀しさが流れていることは「女湯、女湯」を始めとして、彼の一連の作品が証明している。彼の世界は、あまりにも、あっけらかんとしており、叙情性を拒んでいるが、彼の冷たい客観描写の底に私は山本晋也の、人間に対する暖かいまなざしを感ずる。

通常の喜劇を破壊するほどまでに狂おしい彼のナンセンス精神の背後には、いやしがたい魂の飢餓のようなものがあるのだ。

地方の場末の映画館で彼が自作の映画を見ていたら、隣にいた老人夫婦が、よかった、よかったといって涙を流していたという。その姿を見て、彼はガンバラなくっちゃと思ったというが、実に山本晋也らしいエピソードではないか。

彼が映画を撮ろうと思いたつとき、彼の念頭に浮かぶ観客とは、映画評論家でも映画青年でもなく、黙って生活の辛さに耐えて生きている、そうした老人夫婦のような存在であることは間違いない。

住宅事情風刺劇 渡辺演出に冴え

同棲三角関係（OP映配）

■題名から渡辺監督お得意の女学生物と想像したが、内容は現在の住宅事情ならば、あって不思議のないブラックユーモア作品である。

隣りとベニヤ板一枚、ナニの音もすべて筒抜けになってしまう部屋に住む可愛寿美子、椙山拳一郎の新婚夫婦。夜毎の激しい営みの音に悩まされる東大受験浪人の久保新二。

ただ聞くだけでは満足できなくなり、昼間一人でオナニーにふけっている可愛を襲って強姦してしまう久保。それをテープにとって何度も関係を迫る久保。

久保から逃げるには殺すしかないと思いつめて殺してしまう。しかし、殺しを目撃していたクリーニング屋の店員太古八郎からも強迫され太古も殺し、彼女は遂に「家さえあれば」と悔やみながら刑に服する

「同棲三角関係」の可愛寿美子と椙山拳一郎

■最後に活字で住宅建設費用を見せるがチョット蛇足の感がある。可愛が殺人鬼になってからは、化粧をドギツクしたり殺された久保、太古のメイキャップも誇張されていたが、リアルなドラマを非現実的にしてしまったきらいがある。なにげない日常生活、なにげない殺人のようにサラリと流した方が、観る方により重いドラマとして入り込んだのではなかろうか。

久保の部屋でおこなわれる城新子との濡れ場は、足にはさんだままのパンティを有効に使い、ストレートに見せるセックス以上のエロティシズムをかもし出していた。

■渡辺監督の濡れ場演出は定評があり、この作品でも、アップ多用によるリアルさを充分出している。どこにでもいそうな女の子、可愛を魅力ある女優に観せる演出力は高く買っていいだろう。まだ数本しか出演してない新人女優だが、これから期待できる有望株である。

コメディアン太古八郎の使い方がドラマと無関係な演技に見えるが、その無茶苦茶さが、逆に重いドラマの中で生き生きと見えてくるのは、演出段階では予想しなかった収穫であろう。一気に見せる渡辺演出は高く評価したい。　**北川康春**

絶倫の秘戯（OP映配）

梓　哲也（26才・会社員）

成人映画も見方によってはなかなか人生観育成に役に立つものだ、と思った。
母が死に父と生活していた加代（千葉未知）は、ある日、女をつくって出ていった父とはいつか逢える日を楽しみに旅館で働く。そこではヤクザの女である北美マヤとは好対照で、旅館の奥さんの面倒もよくみる。そこの奥さんはずっと病気で寝込み、主人は小料理屋をもたせている女と浮気の毎日、やがては寂しさでオナニーまでするマヤと関係をもつ。こうした経過をつねに加代を中心にして描いているので、加代の純粋な心と好一対をなし、そこでなおかたくなに信ずるもののために一途になる加代がシンボリックだ。ある夜、風呂場で主人とバーの女とのセックスシーンをみた加代は大きなショックをうけるが、自分の父はこんなことはしないと自分にいいきかせるところがいじらしい。
　やがてあらわれた父は若い女をつかんでおり、せっかく会えたこの父の姿に再び大きなショックをうける加代。一緒に働いていたマヤはやがてヤクザの手で殺されるが、彼女が加代に「あんたそんなに信じる人のために働いているとひどい目にあうよ」というセリフは、このストーリー全体の中で重い言葉として残る。
　この映画でのセックスシーンの見せ場は、カネをもらってお客のセックスの場面をまのあたりにみせつけられ、その夜オナニーをする北美マヤがなかなかの演技で、他には余り感動も興奮もしない。その点ではなにか人生教育映画の色彩が濃い。世の中はキレイなものだけでなくキタナイものだ、ということがいいたいのだろう。
だからといって、「人生はキタナイ」のが全部の人生観になると困るが、なかなかためになった。

「絶倫の秘技」

読者の映画評を募ります
●枚数—四百字詰二枚。
●採用の方には規定の原稿料を送ります。
●住所、氏名、年令、職業を明記の上編集部までお送り下さい。

シネ基地街
SHINE KICHIGAI

その後の白川和子 ヌケてる母ちゃんに変身

去る三月に日活の関西支社の宣伝マンと結婚した白川和子はその後、どうしているだろうか。

高校生の女のコと、小学生の男の子のいる後妻となった白川は、家計簿をつけても計算があわず、それでも懸命につけている。買いものに行って店に入ったトタン何を買うつもりだったかすぐ忘れてしまう。団地では近所の奥さんとすぐ友だちになり、子供が学校で食べ残してきた弁当をパクパクと平らげてしまうという。子供たちのためタバコをぷっつりやめてしまい、体重は7キロ増えていま54キロ。

写真は「女性自身」誌より

になったとか。ハダカになるのは、やっぱりキャリアがものをいって、娘とハダカになってボインくらべをしてみたりもする。

ひまさえあればプロレスごっこや体操もする。テレビのうばいあいもして子供たちが歌謡番組が好きで、白川はテレビ映画、それで対立してしまう。結局子供たちにチャンネルをとられると、ブスッと黙って電気を消し、レコードをききながらブドー酒を飲む。歌は好きだがオンチ。夫はガラリと人間が変って、子供たちと三人だけのときは帰宅がおそかったのに、いまは新しいかあちゃんをもらって伝書鳩のように飛んで帰っている。

もちろんあの方もエスカレートするのは当然。たまに出張すると、彼女に〝体がきついことないか?〟と心配の電話がかかってくるというから現金なもの。

オッチョコチョイで、気さくで、相当ヌケていると、子供たちが評価する。まあおもしろい母ちゃんぶりを発揮しているそうだ。

日活ロマンポルノ裁判 6月4日初公判開く

日活ロマン・ポルノ映画をめぐり、製作者や監督、映倫審査員など計九人がわいせつ図画陳列、同ほう助罪に問われた日活ポルノ裁判の初公判は、六月四日午前十時から開くことになった。

これは去る四月に開くのが変更されたもので、東京地裁刑事二部（服部一雄裁判長）と弁護側、検察側の最終打ち合わせで正式に決まったもの。

このところ映画、テレビでポルノ度がエスカレートしただけに、検察側と弁護側、そして原告、証人などの陳述が話題をよびそうだ。

ピンク女優だった霧原ゆかが旅行秘書に変身

TBSテレビの「ぎんざナイトナイト」で「私売ります」コーナをみたら、アップで現われたのがなんと**霧原ゆか**。さてはカバーガールでヌードでもみせるのかな?と思うたら「清田節子」といって、海外旅行の秘書として自分を売っていた。

経歴は沖縄出身、25才、ゴーゴーガール、保母の一級免許あり、アメリカに一度渡米していると紹介し、ピンク映画女優だったことはいわなかった。

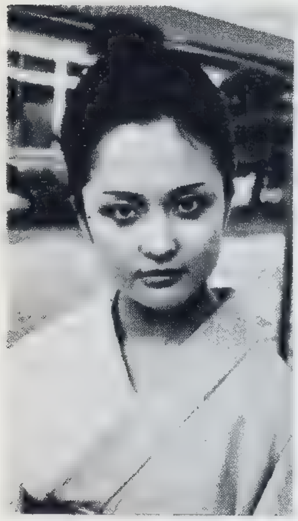
日本から海外に旅行する同行秘書として通訳から、パーティ、保育までつとめると自己紹介し、交通費滞在費を出して下さいとPR。旅行評論家がそばで「トノベルワイフ（旅行妻）ではなく……」といっていたが、霧原クン、いや清田さん、見事な変身でした。

ピンク女優時代はセクシーで売った霧原ゆか

最年少ポルノ女優にケチ 東映上映を途中で中止

このところポルノ女優の年令が次第に若くなってきているが、東映が売り出そうとした史上最年少ポルノ女優で16才の山川レイカが、「㊙昇天トルコ風呂」に主演して、テレビなどでも話題をまいた。

ところが、「成人映画に16才の未成年者を出演させるのはよくない」という新聞の投書から端を発して、東映では山川レイカの作品を上映しないことにきめた。同作品は99%成人映画指定の可能性が強いが、フイルムの最終仕上げも中止した。もったいないですね。



山川レイカ

「野良猫の性春」の片桐夕子

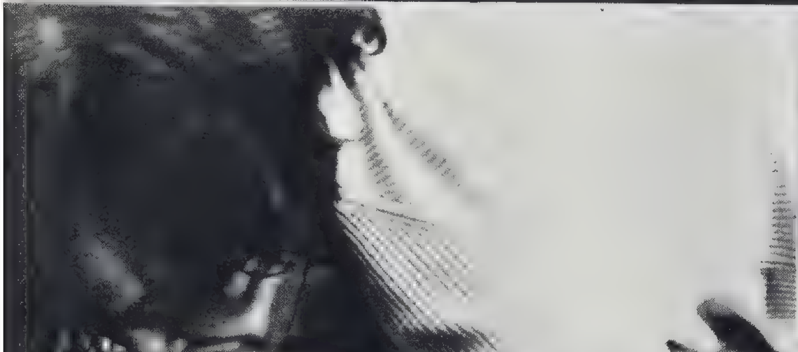
日活ポルノ情報

「恋の狩人・欲望」がポルノ裁判の初公判とあわせて二日から公開されるが、山口清一郎監督は、田中真理がトップシーンから警視庁で取調べられる場面があったり、ショッキングなシーンがあり、話題作にふさわしい出来ばえだ。途中で製作中止となった沢田幸弘監督の「濡れた荒野を走れ」が再開して製作、バラエティにとんだ作品が揃う。

6月の上映番組はつぎの通り。

▼2日「恋の狩人・欲望」（監督山口清一郎、田中真理）「不良少女・野良猫の性春」（監督曽根中生、片桐夕子）「㊙穴場情報・牝馬のためいき」（監督遠藤三郎、二条朱実）▼13日「女教師・私生活」（監督田中登、梢ひとみ）「新色暦大奥秘話・愛戯お仕込処」（監督藤井克彦、小川節子）▼23日「外人妻」（監督白井伸明、サラ・バーネット）「愛さずにはいられない」（監督小原宏裕、小川節子）「濡れた荒野を走れ」（監督沢田幸弘、山科ゆり）。

「肉体暴力」の潤ますみ



「恋の狩人・欲望」の田中真理

「愛戯お仕込処」の小川節子

ポルノ映画時評

どん尻とどん欲

村井 実

東映のドキュメンタリー「トルコの女王」は、製作費千八百万円をかけて、稼いだ金額が一億五千万円になるというから、"だから映画はやめられない"ということにもなる。

マーケットの相違にもよるが、観客にアピールするものはヒットする事実を証明した。

トルコものやモーテルもの、スケバンものは良俗に反するなどという考えはもう古い。あらゆるものをドン欲に吸収してしまう大衆のエネルギーに、作り手側はそれ以上のバイタリティが必要になってくる。

しかもセックスドキュメントから実録ものと、内容が多様化しているから、より多彩な企画で勝負しない限り、生き残れない。

東映がゴールデンウィークを独走してヒットしたのも、その変り身の早さの成果であった。寅さん、座頭市が"あきた回答"をしているのを、製作陣はどうとらえ対処しようとしているのか。

日活にしても、さまざまな新人俳優をつぎつぎ売り出し目先をかえ、企画にも努力している。

若いプロデューサー、監督たちの意欲が、仕事になっている現実はやはり日活らしいよさだろう。

ニューピンクの提唱

ピンク映画に八年間、精力を注いできたプロ鷹の木俣尭喬監督に会ったら、やはり現状打開と、「ニューピンク」、つまり「ニューポルノ」を開発しないと、ドロ沼に落ちこむばかりだという意見であった。

ピンク映画が、古い女の性の業や、悲しい暗い性の遍歴だけのカビくさいパターンの作品から、早く脱出しないと、ファンから無視される。

製作費の切り詰めなどで、一番手痛い立場に立たされているのが、プロダクションと監督たちだが、まず、いい内容の作品を作ることが先決だし、何人かが結束して、新しい映画運動を提唱すれば、味方は出てくる。

ピンク映画はもう十年目を迎えようとしている。一番先手を打って独走した立場にあったピンク映画界が、東映、日活、他の独立プロに食い荒らされ、大きな痛手を受けている。そこで育った監督たちが、大手の東映、日活配給作品を手がけている事実は、製作者（社長）が傍観し、意欲がなかったからだ。

ここらで、もう一つの新しい波、「ニューピンク」映画作りに腰をあげてはどうだろう。

キャリアでみせる珠瑠美の濡れ場

ピンク映画で孤軍奮闘している女優といえば、珠瑠美だ。プロ鷹専属で、屋台骨を支えている。妹の谷身知子が結婚して引退したのでなおさら責任は重い。きょうも徹夜の撮影で秋山駿監督の「すきすき物語」で、日野伸二を相手に猛烈なセックスシーンをバッチリやってのける。亭主は蝶々ばかり追ってあの方は弱い。初恋の男と浮気するが、亭主がヒョンなことから強くなって、2人のセックスがよみがえるピンクコメディものだが、松浦康、野上正義、藤ひろ子に新人の鹿島あぐりも加わって、秋山監督のメガホンでカメラがまわる。豊満なオッパイとプロポーションでムードをただよわす、珠のベッドシーンはやはりキャリアがものをいっていた。

真湖道代らが純生の ヌードを一般に解放

[illegible]

「実録ポルノ裏面史」のジェーン・マンスフイールド

洋画ポルノ情報

6月の洋画ポルノで話題を集めそうなのがイタリア映画の「禁じられたデカメロン」。パゾリーニが映画化した「デカメロン」とほとんど同時期に製作されたもので、監督はフランコ・マルティネリ。ボッカチオの原作の中から六編を選んだもので、ファンタジーそのものの[illegible]、人間の性の真実を[illegible]辛辣に描写している。（東京第一フィルム配給）

「実録ポルノ裏面史」はマリリン・モンローのオールヌードと性の遍歴と謎の死まで、未公開のプライベートフィルムをはじめ、ジェーン・マンスフィールドの私生活、ブルーフィルムなどドキュメンタリーフィルムを集めた作品（東映洋画）

「失神痴態モーテル・日本篇、アメリカ篇」は、日本のモーテルの設備や、利用者の実態、アメリカはモーテルの主人を観淫癖の男に仕立てたドラマにして、泊り客の情事をのぞきという現実のセックス天国の実態を描いている。日本篇の監督は岸本恵一、アメリカはロバート・トーリー監督。（ミリオンフィルム配給）

写真1、2は「失神痴態モーテル」
3、4は「禁じられたテカメロン」
右ページは「実録ポルノ裏面史」
のマリリン・モンローのオール・ヌードシーン

2

4

3

実録ポルノ/裏面

実録ポルノ/裏面史

ＯＰ６月の映画ガイド

6/1〜6/11	合鍵で？どうぞ （ＯＰ映配）	性宴幼な妻 （東京興映）	よろめき色情妻 （ミリオンフィルム）
6/12〜6/21	色情卍巴 （ＯＰ映配）	毒牝の怨み節 （東京興映）	色情三角関係 （ミリオンフィルム）
6/22〜7/2	男妾になるテクニック （ＯＰ映配）	性楽の交叉点 （ＯＰ映配）	セックス競走 （ミリオンフィルム）

●編集後記

■「読者の映画評」の応募が予想以上によせていただき、まだまだピンク映画ファンの根強さを知らされると同時に、かなり手きびしい批評であることも、業界が奮起しなければならないことを知らされました。ピンクに限らず、日活、東映、洋ピンクの作品でも結構です。送稿下さい。

■このごろのひるのテレビ番組をみていると、どこも同性愛とか、人妻の性とか婚前セックス、同棲がテーマで、しかもお昼のワイドショーは、事件をドラマ化して、ベッド・シーンもかなり強烈、ポルノ映画顔まけの場合もある。テレビも、劇画も、週刊誌もポルノだらけ。ポルノ、ピンク映画陣も、よくよく気イつけてみていないと、おくれてしまいそう。

■「ピンク女優特写アルバム」過日送りました。予約の方には、おくれて申訳ありませんでした。次回はもっと内容を豊かにして、早く送りたいと思います。

●年間購読者募集

成人映画専門館でしか発売していない本誌を、定期的に購読できるシステム、それは年間購読会員になることです。半年間一、二〇〇円、一年間二、四〇〇円で送料は当方で負担します。なおお申し込みは現金書留でお願いします。

●ファイルが出来ました

本誌を綴り込める特製のファイルが出来上りました。緑の布地に金文字入りで20冊を合本できます。ご希望の方はご注文下さい。一部送料共300円です。

■昭和48年6月1日発行・通巻89号・毎月1回発行■編集兼発行人・川島のぶ子■発行所・有限会社・現代工房〒東京都港区六本木三の四の三四・601号・〒一〇六■電話・東京03（583）1513■定価二〇〇円

面白さ抜群！ブルーポルノ路線3大作!!

製作・日本映画製作グループ■配給・日映株式会社

東京都千代田区外神田6-16-9　緒方ビル　電話　東京(03)831-9016

「成人映画」 昭和四十四年十二月十八日第三種郵便物認可 昭和四十八年六月一日発行毎月一回一日発行 通巻八十九号昭和48年6月1日発行 編集発行人 川島のぶ子 発行所 東京都港区六本木三—四—三四 六〇一号室 電話（五八三）一五一三現代工房 定価二〇〇円

OP映配が全作品総天然色で贈る6月の豪華ラインアップ!!

合鍵で？どうぞ
泉ユリ・千原和加子・城新子・監督／小川卓寛

色情卍巴
真湖道代・椿ジュン・千葉未知・監督／影山明文

男妾になるテクニック
東裕里子・北見マヤ・城モニカ・監督／関孝二

性楽の交叉点
島 江梨子・城 新子・扇 夏子・監督／門前 忍

OP映画配給株式会社
本社・東京都中央区銀座5-3-12 〒104 壱番館ビル
TEL(573)5566〜8 記録専用(571)4466
プリント宣材倉庫・台東区上野2-13-16 〒110
上野スター座内 TEL (831)0158